

地域おこし協力隊

東通村 →活動レポート

「しらぬか古本市」を出展しました！

東通村地域おこし協力隊の瓜生 信汰朗です！

10月26日に開催された東通村産業まつりで、「しらぬか古本市」というブースを出展しました！

この企画は、白糠地区「いさりび館」の蔵書が廃棄されると聞き「本屋のない東通村で、本に触れられる場をつくりたい」という思いから生まれたものです。

当日は多くの方に足を運んでいただき、ハンドドリップコーヒーを片手に懐かしい本を眺めたり、気に入った本を持ち帰っていただきました。

東通村には、このように普段は見えにくい“価値”がまだ多くあると感じています。これからも移住者の視点で、東通村の魅力を発信していきたいと思います！



趣味全開のコーヒースタンド兼受付！



多くの方の憩いの場にもなりました

今月の『ひがしどおり小話』

No.33 こどもたちの声から実現！横断歩道を移設

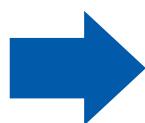
このたび、東通小学校前の横断歩道が新たに整備されたので、ご紹介します。

今回の整備は、令和4年度から実施している「小学生円卓会議」で、こどもたちから「通学時に横断歩道が見えづらくて危ない」といった意見・要望が寄せられていたことを受け、実現したものです。

従来の横断歩道は、曲がり角とカーブに面した位置に設置されていました。実際に、令和6年度には、横断歩道付近では、こどもが巻き込まれる事故はなかったものの、車同士の事故が発生していました。

こうした状況を踏まえ、このたび横断歩道を正門前に移設しました。

村では、今後もこどもたちが安心して登下校できる環境づくりを進めるとともに、円卓会議で寄せられたこどもたちの声を村政に反映してまいります。



横断歩道は歩行者が優先です。
こどもたちのためにも、やさしい運転にご協力ください。